

小学生 ワークショップ (小学生対象)

■ ゆらゆら水族館を作ろう (講師：大場 真美)

7月19日(土) 14:00～16:00

参加費 300円 定員 20名

※お申込みは、電話にて6月21日(土)より受付

■ 海や川でさかなつり！ミニジオラマセット

7月26日(土) 13:30～15:30 (講師：三本 桂子)

参加費 300円 定員 20名

※お申込みは、電話にて6月28日(土)より受付

■ 夏の思い出を掛軸にしてみよう

7月27日(日) 14:00～16:00 (講師：石見 陽奈)

参加費 300円 定員 20名

※お申込みは、電話にて6月28日(土)より受付

おとな ワークショップ (高校生以上対象)

■ 自然木を題材とした鉛筆デッサン

(講師：平田 慎一)

4月27日(日) 14:00～16:00

参加費 1,000円(材料費を含む) 定員 15名

※お申込みは、電話にて4月5日(土)より受付

■ おひなさまミモリョーシカ 絵付けワークショップ

(講師：三本 桂子)

2026年2月1日(日) 13:30～15:30

参加費 2,300円(材料費を含む) 定員 15名

※お申込みは、電話にて2026年1月10日(土)より受付

■ 美術史をまなぶ (講師：当館館長)

2026年2月23日(日・祝) 14:00～16:00

参加費無料 定員 20名

※お申込みは、電話にて2026年1月24日(土)より受付

※どの講座も、定員に達し次第締め切ります。

上記ワークショップは、都合により変更になる場合があります。

お問合せ先／香美市立美術館 TEL 0887-53-5110

INFORMATION

■開館時間 午前9時～午後5時【入館は午後4時30分まで】

■休館日 毎週月曜日【月曜が祝日の場合は開館し、翌日休館】、
資料展示替等の期間中と年末年始12月27日～1月5日

■入場料

◆企画展：展覧会によって異なりますので、裏面をご覧ください。

*団体(20名以上)は半額となります。

*高校生以下の方は無料です。

*障害者手帳をお持ちの方は無料です。手帳をご提示ください。

*長寿手帳をお持ちの方は半額です。手帳をご提示ください。

*年間パスポート1,600円(購入日から1年間有効)

*市民(香美市内に住所を有する者)の方は無料です。

■交通案内

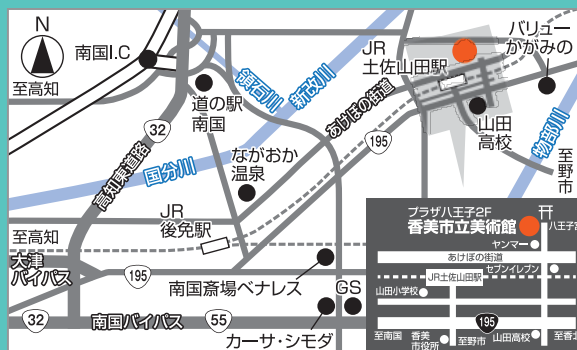
*JR土佐山田駅下車 徒歩7分【距離0.8km】

*高知自動車道南国ICからあけぼの街道経由車で約15分【距離6.9km】

*国道195号線沿い、県立山田高等学校東側信号を北進

八王子宮境内西隣

*高知龍馬空港より車で約15分



KAMI CITY MUSEUM OF ART 香美市立美術館

〒782-0041 高知県香美市土佐山田町262番地1

プラザ八王子2F

TEL: 0887-53-5110

FAX: 0887-53-5498

<https://www.city.kami.lg.jp>

香美市立美術館

KAMI CITY MUSEUM OF ART

2025.4－2026.3

展覧会スケジュール



平田慎一《孤高の叫び》2015年

平田愼一展 時のうつろい

2025年4月12日(土)－5月25日(日)

平田愼一は、1953年に高知市に生まれ、高知大学を卒業後、教職につきながら画業に励み、県展をはじめ一陽会でも活躍し、「時のうつろい」をテーマにした作品を発表しています。



平田愼一 《朽ちゆく時間 (武雄の大樹)》2024年

過ぎ行く時間の中で集積するものを表現してきた平田愼一の真摯な姿勢から生みだされた作品を是非、多くの皆さまにご紹介したいと思います。

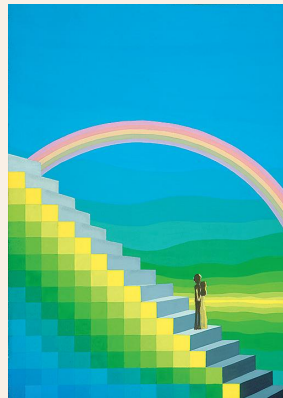
●ギャラリートーク
4月12日(土) 14:00～
場所：展示室
※予約不要 入場料要

●平田愼一ワークショップ
4月27日(日) 14:00～16:00
「自然木を題材とした鉛筆デッサン」
定員 15名
参加費 1,000円(材料費込み)
お申込みは4月5日(土) よりお電話、
または美術館窓口にて

入場料 一般600円(300円)・高校生以下無料

やなせたかしの時代・大正の夢は続く

2025年6月7日(土)－7月21日(月・祝)



「詩とメルヘン」表紙絵 1982年3月号
のやなせたかし
(公財)やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団蔵

やなせたかしは大正8年に生まれ、大正時代の自由な空気の中で成長し、世界大戦や高度成長期などの戦後日本の歩みの中で自身の生きる哲学を磨いてきました。やなせと同時代を生きた画家たちの収蔵品とやなせの作品を合わせて展示し、大正時代以降の世の中の歩みと彼らの画業を紹介します。

入場料 一般400円(200円)・高校生以下無料

香美アートアニュアルvol.13 この時代を生きる力

2025年7月30日(水)－8月24日(日)

2013年より当館独自の企画で、高知に縁のある若手アーティストを紹介する場として続けてきたものです。若手作家の力作の数々をご覧ください。

■出品作家■ 刈谷舞花(創作家)、澤田亮(造形作家)、センコウジヒナ(美術作家)、中平さやか(画家)、平野史恵(美術作家)、森本凌司(アーティスト)



刈谷舞花《ひろめ市場》2024年



澤田亮《コイロポリ》



センコウジヒナ《肉塊の記憶》2023年



中平さやか《フレッシュ》2014年



中野史恵《とび石》2016年



森本凌司《SHARE》

出品作家によるシンポジウム

8月24日(日) 14時～16時

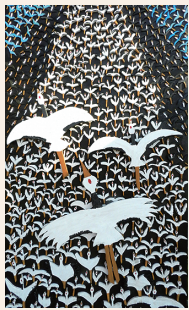
※掲載作品は展示されない場合があります。

入場料 一般400円(200円)・高校生以下無料

わくわく生きる人生100年

2025年9月6日(土)－10月13日(月・祝)

長寿社会の現代において、人生の後半に生きがいを持って生きていくために芸術の果たす役割は重要なものとなっています。独自の手法と考え方を確立し、日々作品制作に没頭し生み出される作品は多くの人をなごませ、楽しませるものとして大きな輝きを放っています。



水田貴士《北へ帰る》



徳久茂《チャレンジ》



朝比奈富美男《対峙》



高瀬哲男《土佐呑べえシバテン土佐酒で迎える》

入場料 一般600円(300円)・高校生以下無料

具象から抽象へ・前衛の興亡

2025年11月1日(土)－12月21日(日)



片木太郎《彫刻家の家》1992年

高知県では、県展を中心に昭和30年代に入ると抽象・具象の議論が激しくなり、全国的な前衛運動の流れに多くの画家たちが抽象に走るようになりました、また具象の巻き返しもおこり、抽象と具象が同時に並び立つようになりました。当館収蔵作品に新たな収蔵作品を加え、高知での洋画の歩みを紹介します。

入場料 一般400円(200円)・高校生以下無料

怖い話と怖い絵

(高知県立文学館×香美市立美術館)

2026年1月24日(土)－3月22日(日)



小作青史《四つの顔》1966年

当館と高知県立文学館のコラボ企画で「怖い」をテーマに、より深く掘り下げて「絵」と「言葉」で表現される「怖い」世界をお届けします。

【関連企画】
2館合同展
(香美市立図書館×香美市立美術館)
開催予定

入場料 一般400円(200円)・高校生以下無料

■美術館は下記の活動も行っています。ご要望の際は美術館受付またはお電話(TEL0887-53-5110)にてお問い合わせください。

作品解説

企画展期間中の日曜日に、館長又は学芸員による作品解説を行います。

鑑賞教育

事前の予約により、幼・保・小・中・高校生を対象に展覧会の鑑賞を支援、わかりやすく解説します。

アトリエ

美術サークル活動及び作品の発表の場として貸出しています。

※上記のスケジュールは、2025年3月現在のものです。都合により変更になる場合があります。
常設展示はございませんので、上記の展覧会期間以外は休館となります。